

今月の

5冊



オープンダイアログ 私たちはこうしている

森川すいめい＝著

定価：2200円（本体2000円＋税10％）

発行：医学書院 ☎03-3817-5650

どうしたらオープンダイアログを日本で実現できるのか。その思いから、日本人医師として初めてオープンダイアログのトレーナー資格を得た著者と仲間たちが、臨床現場で実践している工夫を惜しみなく伝える。具体的な声のかけ方から、応答例、対話セッションの実際まで、初心者の方の大きなヒントに。

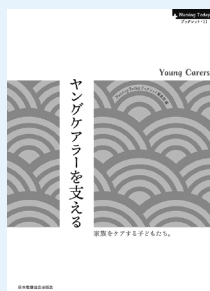
ヤングケアラーを支える

家族をケアする子どもたち

Nursing Todayブックレット編集部＝編集

定価：990円（本体900円＋税10％）

発行：日本看護協会出版会 ☎0436-23-3271



ようやく認知されはじめた「ヤングケアラー」とは、疾患や障害を持つ家族をケアする子どもたちのこと。本書は、そんな彼らがSOSを出しやすくなるようにと、実態を知るための視点、元当事者の声、支援体制づくりの現状を伝える。全ての教育関係者、医療関係者にとって必読の書。

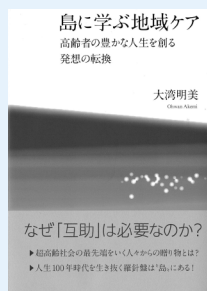
島に学ぶ地域ケア

高齢者の豊かな人生を創る発想の転換

大湾明美＝著

発行：オフィス・コオリノ ✉info@co-orino.jp

定価：1320円（本体1200円＋税10％）



老年看護を専門とする著者が、高齢者の地域ケアモデルとして沖縄の波照間島で行った参加型アクションリサーチ（実践研究）や、他の島々での実践事例を紹介する。そこには、自助・共助・公助に住民同士の支え合いである「互助」を加えた豊かな実践があり、どの地域でも応用可能な手がかりがある。

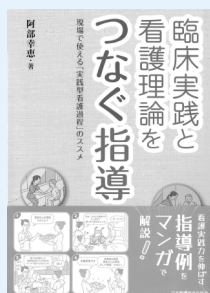
臨床実践と看護理論をつなぐ指導

現場で使える「実践型看護過程」のススメ

阿部幸恵＝著

定価：2640円（本体2400円＋税10％）

発行：日本看護協会出版会 ☎0436-23-3271



本書では、乖離しがちな「理論」と「実践」を切り離さず、スピード感を持ってチームで看護を展開するプロセスとして「実践型看護過程」を提案。フェーズごとの指導のポイントを漫画で示すとともに、「看護とは何か」「指導者はどうあるべきか」を、看護理論家の言葉を用いて分かりやすく解説する。

自分を思いやるレッスン

マインドフル・セルフ・コンパッション入門

岸本早苗＝著

定価：1980円（本体1800円＋税10％）

発行：大和書房 ☎03-3203-4511



セルフ・コンパッションは、大切な人を思いやるように自分を思いやること。その力を高めることで困難への対応力や周囲と調和した行動力、モチベーションや幸福感が高まるという。本書では世界各国で実践されているエビデンスに基づいたトレーニングを分かりやすく紹介する。